球磨川上流流域下水道指定管理者 令和元年度(2019年度) 管理運営評価票

所管部課:土木部下水環境課

I 施設の管理概要

指定管理者名		九州テクニカル・球磨清掃公社委託業務共同企業体		
指定期間		平成29年(2017年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日まで		
	設置目的	生活環境の改善と公共用水域の水質の保全を図る		
施設概要	施設区分	下水道法第25条の2の規定に基づき錦町、あさぎり町、多良 木町、湯前町及び水上村を区域とする下水処理施設(処理 場1箇所、ポンプ場3箇所、幹線管渠34.4km、全体計画処理 面積1,435.8ha)		
指定管理料		193, 526, 000円		

Ⅱ 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実 績 値	備考
別紙のとおり			

【点検・調査結果及び評価】

流入水量 1 m³当たり発生汚泥、消費エネルギー及び温室効果ガスについて、令和元年度(2019年度)は前年度に比べ増加しているが、本業務の最重要指標である放流水質におけるBOD・COD等の管理目標値は達成。業務全体として適正な維持管理を行っているものと認める。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

	生不勿大順			
作業項目	実	施日		内 容
施設清掃·緑地管理	日常清掃	243日	1~3人	再委託分を含む
施設の保守・点検	日常点検	366日	1~2人	
保安·警備				再委託にて実施
施設の運転操作監 視		366日	1~2人	
水量·汚泥計量、成 分分析等		360日	1~2人	再委託分を含む
汚泥沈砂等処理		229日	1~3人	再委託分を含む
排ガス悪臭騒音等 計測				再委託にて実施
運転データー等記録保管	\	366日	1人	

【点検・調査結果及び評価】

各作業項目は、適正な日数と人員により実施されており、良好であると認める。

3 管理経費の収支状況

① 収 入

U 1 1		
項目	内訳	金額(円)
指定管理料	流域下水道の運転操作、維持管理、簡易な修 繕等	193, 526, 000
숌 핡		193, 526, 000

収入未済額 0 うち利用料金収入分 0

② 支 出		
項目	内 訳	金額(円)
運転管理費	需用消耗品·車両費·損害保険費 委託業務共同企業体構成企業における留保分を含む	58, 129, 832
ユーティリティ		36, 652, 698
分解整備工事費		30, 893, 270
小修繕費		7, 726, 871
業務委託費	汚泥運搬処分、電気計装設備点検等	42, 644, 424
薬品費	脱水助剤費等	5, 834, 774
普及啓発費		1, 635, 915
合計		183, 517, 784

【点検・調査結果及び評価】

管理経費は、県の委託料の範囲内で執行されており、良好であると認める。

5 意見・苦情等の対応

3 总兄・古旧寺の刈心	
利用者からの意見・苦情等	改善状況
該当なし	
【調査結果及び評価】	
_	

6 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
該当なし	
【調査結果及び評価】	

<u>7</u> その他

事業全般について、委託仕様書に定める分解整備工事の効率的な執行や、設備稼働の平準化の取り組みや薬品代の効率的な調達などを行いつつ、県仕様に定める放流水質等の管理水準を充足した運用を行っている。経験豊富な民間企業のノウハウを生かした運営が行われているものと評価できる。

Ⅱ 管理運営の評価 - 1 管理業務の水準の評価 (球磨川上流流域下水道)

管理第	業務の水準を表す指標				
放流水質			管理目標基準	令和元年度(平均値)	備考
BOD (mg/I)			2. 5以下	1. 3	2
COD (mg/1)			6以下	4. 9	
SS (mg/l)		3以下	1. 6	
大腸菌群数(個			10以下	1	
透視度(cm)	· ·		99以上	>100	
窒素含有量(m	g /)		10以下	1. 6	
燐含有量(m g			1. 5以下	0. 9	
	生污泥削減量(率)		平成30年度	令和元年度	元年度-30年度
ケーキ量(t /	年)		1, 888. 6	1, 922. 5	33. 9
流入水量(m³/			2, 632, 462	2, 576, 513	
1㎡の量(g/㎡)		717. 4	746. 2	28. 8
エネ	ルギー削減量(率)		平成30年度	令和元年度	対前年度比
	気使用量(kWh/年	Ξ)	1, 343, 370	1, 331, 110	
	場電気使用量(kWh		125, 462	119, 874	
	電気使用量(kWh/		34, 298	35, 192	
	プ場電気使用量(kw		95, 672	89, 506	0.70%
	プ場電気使用量(kV		204, 744	201, 719	0. 73%
	:計(kWh/年)	,	1, 803, 546	1, 777, 401	
流入水量(㎡/			2, 632, 462	2, 576, 513	
原単位(kW/n			0. 685	0. 690	
	CO2排出量		平成30年度	令和元年度	対前年度比
流	入下水量	m³/年	2, 632, 462	2, 576, 513	7 7 7 7 7 7 7
電気		kW	1, 343, 370	1, 331, 110	
条数: 0.555	浄化センター	CO ₂ kg	745, 570	738, 766	
, o. c.c.	5 - 1 AND 10 01B	kW	125, 462	119, 874	
	免田中継ポンプ場	CO ₂ kg	69, 631	66, 530	
	A5 1 4m 10 = -010	kW	34, 298	35, 192	
	錦中継ポンプ場	CO ₂ kg	19, 035	19, 532	
	4 4 4 4 4 4 1 € 5 − 2 1 B	kW	95, 672	89, 506	
	多良木中継ポンプ場	CO ₂ kg	53, 098	49, 676	
	-> 1 11 12 N = 11 H	kW	204, 744	201, 719	
	マンホールポンプ場	CO ₂ kg	113, 633	111, 954	
	合計	CO ₂ kg	1, 000, 967	986, 458	
LPG		k g/年	43. 6	48. 0	
係数:3.000	浄化センター	CO ₂ kg	131	144	
A重油	浄化センター	L/年	208	196	1. 22%
係数: 2.710	がしてフダー	CO ₂ kg	564	531	
	免田中継ポンプ場	L/年	56	65	
	光田中極小ノノ场	CO ₂ kg	152	176	
	錦中継ポンプ場	L/年	29	32	
	3011丁型でいって 2 20	CO ₂ kg	79	87	
	多良木中継ポンプ場	L/年	60	40	
		CO ₂ kg	163	108	
	合計	CO ₂ kg	958	902	
高分子凝集剤	浄化センター	t /年	2. 6	3. 4	
係数:6,500	/ J. IU C / J.	CO ₂ kg	16, 900	22, 100	
ガソリン	浄化センター	L/年	634. 36	550. 82	
徐釵:2.32		CO ₂ kg	1, 472	1, 278	
CO ₂ 合計 kg/年		1, 020, 428	1, 010, 882		
流入下水比 kg/m³		0. 3876	0. 3923		
見学者数の増減(率)			平成28~30年度平均	令和元年度	増加率
	Hurr (17		453	400	-11. 7%
クレーム数の増減			平成30年度	令和元年度	増加率
,			0	0	_